

# 芽室MaaS事業 Version UP「めむろコミ☆タク」

昨年度実施した「みんなのコミ☆タク」共生・支援型 芽室MaaS事業で得た知見を活かし、地域の特性（過疎農山村地域・高齢化・希薄な公共交通・クレジットカード保有率の低さ・タクシー事業者の収益悪化）を考慮し、産学官の連携を図りながら都会とは違うMaaSで事業のVersion UPを図っていく。さらには昨年度把握できた移動の目的（通院・買い物・食事等）に加え、①市街地で開催される介護予防・認知症予防等の活動、②娯楽などを移動の目的化させていくことで移動機会を創出し、健康で元気ある町づくりに取り組む。

<b>協議会の構成員</b>	【幹事】芽室町、芽室町公共交通活性化協議会、北海道経済連合会、芽室みなくる商店会、NPO法人上美生、こぼとハイヤー株式会社、十勝バス株式会社、株式会社TKコミュニケーションズ、小樽商科大学、北翔大学、（相談中）コープさっぽろ、NPO法人ソーシャルビジネス推進センター、株式会社ノースター、電脳交通株式会社、NEVELL株式会社、株式会社CHIENOTECH		<b>取り組みイメージ</b>
<b>地域課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村地区の過疎、高齢化</li> <li>域内学生(高校生)の通学</li> <li>希薄な公共交通(路線バス、鉄道)とこれによる買物難民化</li> <li>タクシー乗務員の成り手、担い手不足</li> <li>高齢者の健康維持増進やデジタルデバйд解消</li> </ul>		
<b>事業概要</b>	サービス開始時期	2022年10月～2023年2月	<b>評価指標</b>
エリア	芽室町上美生地区		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の属性・頻度などの集計・分析</li> <li>乗降場所ログによる集計・分析</li> <li>家庭でのタブレット使用状況</li> <li>買物支援策需要と生活必要商材の検証</li> <li>外出頻度の向上に向けた施策の検討資料の蓄積</li> </ul>
MaaSシステム	WEBと電話によるデマンド予約、及び高齢者でも簡単に操作できる予約タブレットをあらたに開発、利用者の家庭に配置する		<b>今後の方向性</b>
交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗合型オンデマンド交通の運行</li> <li>上記予約・機能の提供（高齢者向けに電話によるオペレーションコールセンターを構築）</li> <li>口座引落し型の運賃形態でのサービス提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今事業では対象となるエリアを上美生地区に限定し、サービスを磨き上げた上で、町内他地域への水平展開を図る。</li> <li>タクシー乗務員の担い手不足は深刻な課題であり、タクシー事業者と、自家用有償旅客運送のコラボレーションによる相互補完可能な運行を目指す。</li> <li>地域住民の健康維持・増進を図るための、地域医療機関やヘルスケアプログラム等とデマンドサービスの連携を進めていきたい。</li> </ul>
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設との連携による、買物支援サービスの提供</li> <li>口座引落しによるキャッシュレス化</li> <li>病院診察時間に応じた簡単操作の予約変更</li> </ul>		
<b>事業目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の希薄な過疎農山村地域にあった、デマンド交通を実装することにより、住民の移動・買物手段を確保する。</li> <li>口座引落しによるキャッシュレスの進め方を探る。</li> <li>自家用有償運送と流しのタクシーのリソース相互補完の在り方を探る。</li> <li>予約タブレットを無償配布することでのデジタルデバйдの解消</li> </ul>		